



下関市長の部屋

検索

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>



市役所で原沢選手を激励。左から関谷下関市議会議長、中尾下関市長、原沢選手、酒井下関後援会長（6月21日 下関市役所）

原沢久喜選手、目指せ金メダル！ 羽ばたけリオへ！！

リオ五輪柔道男子100kg超級日本代表へ

んには。市長の中尾友昭です。いよいよ4年に1度の世界最大のスポーツイベントであるオリンピックがブラジル・リオデジャネイロで日本時間の8月6日（土）から開催されます。

今大会には、下関市出身の原沢久喜選手が柔道男子100kg超級日本代表として出場します。

原沢選手は6歳で市内の大西道場スポーツ少年団へ入団、文関小学校、日新中学校、早稲高等学校と下関市で過ごし、柔道に打ち込んで来られました。まさに地元代表選手として期待も大きく、われわれ下関市民にとっても誠に光栄であり誇りに思います。

このことは、「ふるさと下関」への思いを喚起させ、将来を担う子どもたちに対して、勇気や希望を与えることとなります。また、スポーツを通じて、下関の情報発信や地域の活性化につながっていくものと考えています。

柔道では2012年ロンドンオリンピック90kg級で銅メダルを獲得した西山将士選手に続く快挙で

あり、メダル獲得を目指して頑張ってもらえるよう市民挙げて応援したいと考えています。

市では現在、原沢選手のリオ五輪出場を祝福し激励するため、市役所本庁舎本館に懸垂幕、唐戸市場に横断幕を掲示して、広く市民にPRするとともに、6月21日には、本庁舎新館1階エントランスホールで原沢選手の表敬を受けました。約200人の出席者とともにリオ五輪での活躍を心から期待し、激励しました。

原 沢選手が出場する柔道男子100kg超級の試合は、日本時間の8月12日（金）深夜から13日（土）の早朝にかけて行われます。

皆さんの熱い声援で原沢選手の金メダル獲得を後押ししてください。その声援は遠く離れたリオで戦う原沢選手に伝わり、必ず皆さんの期待に添えて金メダルを獲得し下関に帰ってきてくれると信じています。

これから市民一丸となって応援ムードを盛り上げ、リオ五輪での原沢選手の活躍に期待しましょう。

しものせきナビ vol.69

行って！学んで！博物館！

ながとくにちゅうせんいぶつ 長門国鑄銭遺物

下関市立歴史博物館蔵



①和同開珎



②錢范

長門国鑄銭遺物は、和同開珎（画像①）、錢范（鑄型／画像②）と坩堝（金属を溶かし合成する容器）の残欠、鞆口（燃焼を促進する器具の一部）から成ります。

これらは明治44（1911）年に長府安養寺にある覚苑寺境内で出土し、昭和39（1964）年に国の重要文化財に指定されました。出土地は、錢貨の鑄造を行った鑄銭司の跡として昭和4（1929）年に国史跡に指定されています。

古代の長門・周防両国では、長谷銅山（美祿市）が東大寺大仏の造営に銅を提供したことで知られるように、銅の生産が盛んでした。さらに鑄型の材料となる良質な砂の産出地に近く、交通の要衝であったためか、長府に鑄銭司が置かれることになりました。鑄銭司では、国産流通貨幣のさきがけである和同開珎が

鑄造され、下関は貨幣経済導入という一大国家プロジェクトを支えました。

平成22（2010）年、覚苑寺周辺で鑄銭遺物とともに大量に出土した木簡のなかに、「天平二年（730年）」と記されたもの（画像③）がありました。長門鑄銭司操業の事実と年代を明らかにする大発見でした。

歴史博物館のオープンニング展示では、鑄銭遺物に加えてこの木簡も展示する予定です。ぜひお楽しみに！



③紀年銘木簡（一部） 下関市教育委員会蔵